令和４年３月 18 日

令和３年度意思決定支援チームに対する研修の実施計画について

１　根拠

津久井やまゆり園再生基本構想Ｐ４「２　意思決定支援の仕組みと手続き」に規定。

> (3)　意思決定支援チームに対する研修の実施
>
> 意思決定支援チームの構成員が、意思決定支援の趣旨、手続き等について十分な理解を得られるよう、障害者の権利擁護・地域生活支援の専門家等による研修会を継続的に実施する。

（参考）厚生労働省のガイドライン

職員の知識・技術等の向上は、意思決定支援の質の向上に直結するものであるため、意思決定支援の意義や知識の理解及び技術等の向上への取組みを促進させることが重要である。

２　令和３年度予定・実績

月日等	テーマ・目的	講師	対象
５月 11 日 ※ZOOM	１．移転後を見据え、地域の人や社会等とのつながりの重要さを認識する。 ２．令和３年度の意思決定支援の進め方について理解し、実践できる。	１．髙山　直樹氏 リーフ学生２名 ２．県共生推進本部室	意思決定支援チーム 相談：26 名 施設：32 名 市町村：22 名 モデル：７名 オブザーバー：９名 合計　　94 名
10 月 28 日 ※ZOOM	○　下半期の進め方のポイント ○　意思決定支援担当より、園の個別支援計画の取組み等の紹介 ○　津久井やまゆり園利用者の意思決定支援を振り返る。	１．県共生推進本部室 ２．津久井・芹が谷意思決定支援担当 宮田氏・須藤氏 ３.冨岡　貴生氏	意思決定支援チーム 相談：23 名 施設：34 名 市町村：22 名 モデル：22 名 オブザーバー：２名 合計　　103 名
３月 18 日 ※ZOOM	○　ともに生きる社会を支える意思決定支援（現状と課題） ＊報告書総括にそって	鈴木　敏彦氏	意思決定支援チーム 相談：17 名 施設：23 名 市町村：19 名 モデル：10 名 オブザーバー：４名 合計　　73 名